

治療スケジュール

*レジメン名	Pmab+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> d1、イリノテカン150mg/m <sup>2</sup> d1、5Fu400mg/m <sup>2</sup> d1、5Fu2400mg/m <sup>2</sup> d1、ベクティビックス6mg/kg

*手技	癌	*薬品名*用法*コメント*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ 1日1回 開始時 CVポートフラッシュ	10	mL		○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 デキサート注射液 グラニセトン静注液 1mg 1日1回 メイン① 点滴開始時にアプレピタントカプセル服用	50 4.95 1	mL mg A	15分	○ ○ ○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 ベクティビックス注 1日1回 メイン② 0.2又は0.22µmフィルター使用 ベクティビックス開始から2時間要観察 無菌製剤処理料1	100 6	mL mg/kg	60分	○ ○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 1日1回 メイン③ 流し	50	mL	15分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 レボホリナート点滴注 1日1回 側管④	250 200	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	5%ブドウ糖注 イリノテカン注 1日1回 メイン④ 側管④と併流 無菌製剤処理料1	250 150	mL mg/m <sup>2</sup>	90分	○ ○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 メイン⑤ 無菌製剤処理料1	50 400	mL mg/m <sup>2</sup>	5分	○ ○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 全量140mLに。(トレフューザー typeT) メイン⑥ 無菌製剤処理料1 携帯型ディスプレイ注ポンプ(化学療法用) 休薬完了	100 2400	mL mg/m <sup>2</sup>	46時間 3.7mL/h	○ ○				●
		以下別オーダー								
内服		アプレピタントCap 1日1回 1本目の点滴開始時	125	mg	d1					
内服		アプレピタントCap 1日1回 朝食後	80	mg	d2,3					